

寸言

株式会社AileLinX
代表取締役社長
北川 慶祐



空間の価値を追求し、人の未来を拓く

この度は、伝統ある日本航空宇宙工業会に入会させていただきましたこと大変光栄に存じます。

株式会社AileLinX（エールリンクス）は、自動車部品・産業機械・工作機器などを手掛ける株式会社北川鉄工所（本社広島県府中市）と長年ラジコンヘリコプターや産業用無人航空機を研究開発してきたヒロボー株式会社（本社広島県府中市）との共同出資により無人航空機の開発・製造・販売を行うことを目的とした会社として2018年6月広島県府中市に設立されました。

「空間の価値を追求し、人の未来を拓く」という企業理念を掲げ、“空の安全”を第一に考えて無人航空機技術を起点に空をより価値のある、人に役立つ空間に変えていくことを目指しています。現在、より信頼性の高い“国産”無人航空機の機体と飛行制御システムを独自に開発しています。

開発中の3機類の無人航空機について紹介します。

1つ目は、消防庁消防研究センターと共同開発した消防ロボットシステムの「偵察・監視ロボット（飛行型）」です。大規模なコンビナート火災を想定し、輻射熱に強く耐風性能に優れた同軸二重反転機構×可変ピッチ機構を採用しています。そのため、コンパクトな機体且つ複雑な気流の中でも安定した飛行が可能となりました。上空から可視画像、熱

画像、輻射熱量、可燃ガス濃度、風向及び風速などの各種データを地上に伝送し、他のロボット（放水ロボットなど）と連携して消火活動にあたるものです。

2つ目は、偵察・監視用電動無人ヘリコプター（シングルローター方式×可変ピッチ機構）です。マルチローター方式に比べ、高速での長距離飛行と俊敏な動きが可能となりました。また電動モータ駆動を採用することで高い静粛性を実現しました。

3つ目は、株式会社デンソーの企画で当社と共同開発している測量・橋梁点検用無人航空機（マルチローター方式×可変ピッチ機構）です。従来のマルチローター方式に比べ耐風性能が優れており、物件への接近が容易となり測量・橋梁点検の環境に適合した撮影が可能となりました。

この他当社では、無人航空機産業の発展のために様々な施策を推進しています。機体に関する安全性評価基準の検討はもちろんのこと、特に、地元自治体と連携した無人航空機を活用する環境の整備と第三者上空での使用基準などの整備並びに社会実装に向けた実証試験を進めています。

これからも航空宇宙産業の歴史と技術、思想を学びつつ、世界の強豪と渡り合える日本の“国産”無人航空機メーカーという地位を確立していきたいと考えております。

ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。